

国際交流員マシアスのコラム

●ギムナジウム卒業の前に・・・



新年が明けて、あっという間に2か月過ぎてしまいました。日本の学校ではもうすぐ卒業式や修了式を迎え、春休みが始まりますね。ドイツの学校では日本と違い8〜9月に年度が切り替わります。7月には1年間の授業がすべて終了し、新年度が始まるまで長い夏休みを過ごします。

しかし、ギムナジウムの最終学年の生徒だけは特別です。ギムナジウムとは、大学への進学を希望するほとんどの子どもたちが通う8年制の学校で、日本の中高一貫校にあたります。4月下旬にアビドゥアという試験があるため、3月に授業が終了してしまうのです。

アビドゥアとは、大学に進学するための全国統一試験で、この点数によって入学できる大学が決まるので、とても大切です。3月に授業が終了するおかげで、最終学年の生徒は試験に向けてしっかりと準備ができるというわけです。

ところで、ギムナジウムの最終学年の生徒は、授業が終わる最後の週に思い出作りとして、クラス



メートでおもしろいことをする伝統があります。

例えば、毎日異なるテーマを決めてクラスのみんなで仮装をします。月曜日は「海賊」、火曜日は「1970年代」、水曜日は「緑」といった具合です。先生も仮装してくるので、教室は大変おもしろい光景になります。

また、授業最終日に小さないたずらをする伝統もあります。私のときは、学校の入り口の前

に段ボールや発泡スチロールの箱を積み上げ、誰も校舎に入れないようにしたり、エントランスホールを風船でいっぱいにしたりました。

教室では、テーブルや椅子をピラミッドのように積み上げ、先生をびっくりさせたりもしました。

先生は怒らず、このいたずらを一緒に楽しんでくれました。クラスメートのみんなは、今でもこの日のことを思い出して笑顔を浮かべていることでしょう。

日本では卒業する前に、クラスで何かおもしろいことをする伝統はありますか？今度イベント等でお会いしたときに教えてくれると嬉しいですよ。



イースターエッグ作り 国際交流員イベント

イースターはイエス・キリストの復活を祝うキリスト教最大のお祭りです。今年は4月1日がイースターの日にあたります。

イースターの日には、卵の殻に色を塗ったり模様を描いたりして、イースターエッグを作る習慣があります。

下野薬師寺跡史まつりの会場で、国際交流員のマシアスさんがイースターエッグの作り方を皆さんに伝授します！みんなと一緒に作りましょう！

■日時

3月4日(日)

午前9時〜午後1時

※卵100個がなくなり次第終了となります。

■場所

下野薬師寺歴史館

■参加費 無料

■申し込み 不要。

直接会場にお越しください。

■問い合わせ先

下野市国際交流協会事務局
(市民協働推進課内)

☎(32)88867

PC・スマホ
市ホームページ



■人口と世帯（2月1日現在）

人口／60,314人(-9)、男性／29,954人(+29)、女性／30,360人(-38)、世帯数／23,727世帯(+17)



TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課☎0285(32)8886情報広報グループまでご連絡ください。